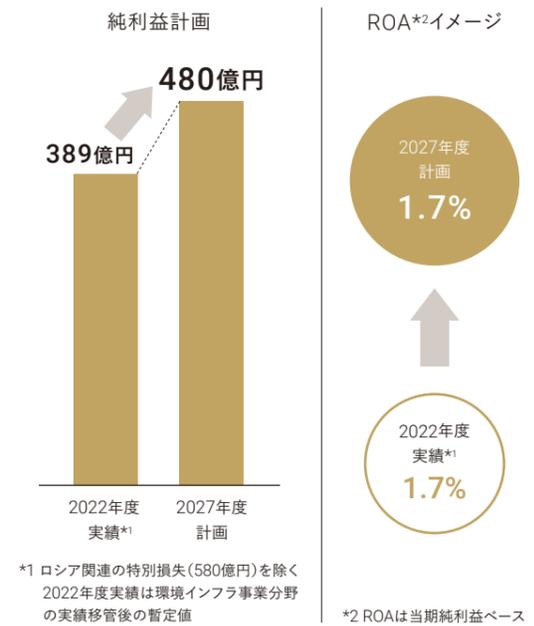


各事業分野の成長戦略

## SPECIALTY FINANCING

スペシャルティ事業分野

## 中期経営計画2027における利益計画



## 成長戦略

## 航空機

- ➡ コロナ後の急速な市場回復および旺盛な機体需要に応える次世代機体のオーダーブックのプレースメント、トレーディング機能拡充による良質なポートフォリオの形成。
- ➡ 新造機から中～高齢機までの航空機ライフサイクルをカバーするACGやGA Telesisの堅固なプラットフォーム、リース・ファイナンス機能のフル活用、連携推進による収益力強化。

## 不動産

- ➡ 優良パートナーとの一層のビジネス深耕と、中長期優良案件への取り組みによる収益基盤の拡充。
- ➡ 市況の変化を的確に捉えた、海外を含むポートフォリオの機動的な見直し。
- ➡ 関係会社(TC神鋼不動産、NX・TCリース&ファイナンス、NTT・TCリース)との連携強化と専門性の高い人材の育成および拡充。

## プリンシパル・インベストメント

- ➡ アドバンテッジパートナーズとの共同投資の推進と事業投資モデルの高度化。
- ➡ ESGやサステナビリティなど、社会課題へのソリューションとなる投資の拡大。
- ➡ 当社グループのパートナーシップおよびネットワークを活用した案件の発掘と投資先企業のバリューアップの推進。

## 船舶

- ➡ 船舶保有ビジネスの強化と高収益なビジネスモデルへの変革。
- ➡ アセットマネジメント機能の深化とパートナーシップ戦略の推進。

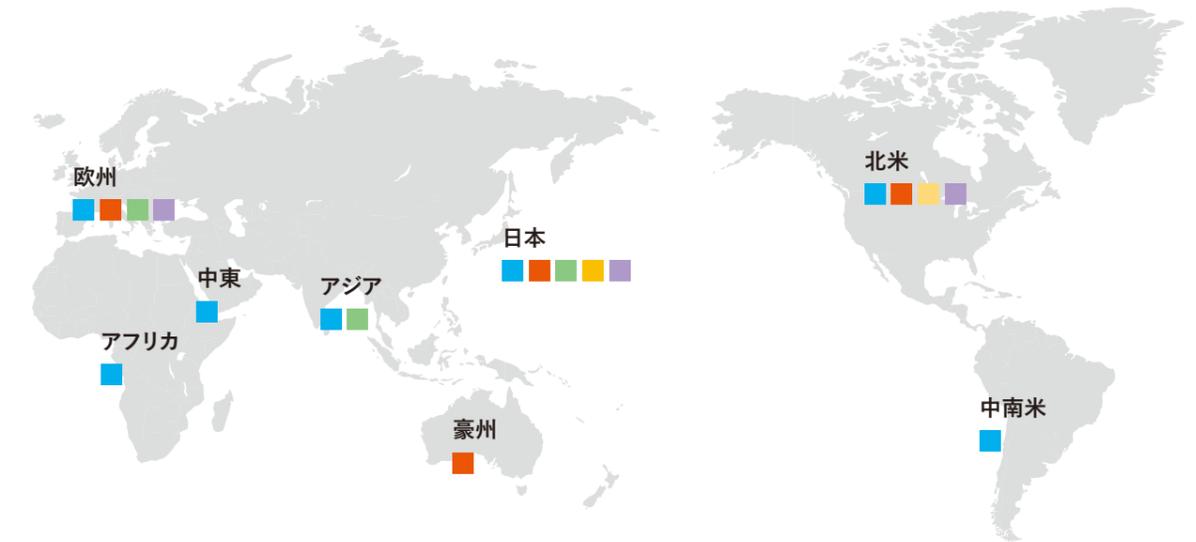
## 新規事業

- ➡ 住友林業グループ組成の森林ファンドへのLP出資を中心とした、カーボンオフセットと地球環境へ貢献するビジネスの推進。
- ➡ 脱炭素およびDXの潮流を捉えた新たな投資機会の発掘。

## 事業展開イメージ

## 事業MAP

航空機 不動産 船舶 プリンシパル・インベストメント ストラクチャード・ファイナンス



## MESSAGE



**前** 中期経営計画期間中は、航空機リース会社のAviation Capital Group(ACG)をはじめ、アドバンテッジパートナーズとの連携によるプリンシパル・インベストメント事業の成長、不動産事業におけるホテル事業への進出や米国データセンター投資など、環境変化に対応した新しい金融・サービスを不断に創出してきました。航空機事業ではコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻に伴う影響を大きく受けましたが、航空機マーケットの回復とACGの機動力により、再び成長軌道に戻りつつあります。

新たに中期経営計画2027がスタートしましたが、金融情勢、気候変動問題への対応など、事業環境は大きな変化の渦にあります。中でもプリンシパル・インベストメントを中心と

する事業投資ビジネスと不動産分野に強いモメンタムが醸成されており、大きな成長の手応えを感じています。また好調の船舶事業に加え、将来への布石として新たに取り組みを開始した蓄電池、森林ビジネス、eVTOL(空飛ぶクルマ)なども今後の展開が楽しみです。特に住友林業とともに取り組む森林ファンドは地球の脱炭素社会に貢献する新たなチャレンジです。また稼働力の強化策として中期経営計画期間を通じ、低効率資産の入れ替えと事業投資の資産回転を推進しつつ、採算性を意識した資産効率化により、ROA向上に資するポートフォリオ形成に努めていきます。

当分野では、アセットのライフサイクルマネジメントに着目し、製品の開発から運用、リサイクル・リセールに至るまで幅広くカバーするバリューチェーンの実現を推進しています。「モノを管理する力」と「金融の力」を融合し、プロダクトそのものを運用する事業者、あるいは金融のノウハウを駆使する立場など、多彩なポジションで事業領域の拡大を目指しています。近い将来において、不動産や自動車、鉄道、船舶や航空機の部品に至るまですべてのものがつながる「コネクテッド社会」の実現に期待しています。当社はその中でハブの役割を担い、パートナー企業と連携しつつ、通信、データ、インフラ、アセットマネジメント、ファイナンスの各機能を融合させ、事業成長を促進していきます。